**オリエンテーション**

■今までの取組を振り返ろう

○「課題研究」とは（*cf*.メソッドp.8）

①先人たちが行った研究の諸業績をふまえたうえで，（　　　　　　　　　　　　　）から自分が取り組むべき課題を見いだし，それに対して，②客観的なデータをもとにしつつ，③自分自身の考察やアイデアなどで新たな知見を創造，探究し，④他者と共有することで，（　　　　　　　　　　）に貢献すること。

○課題研究の７つのステップ（*cf*.メソッドpp.12-13）

○「ＳＤＧｓ達成のためのアイデア提案」で行ったこと、行っていないこと

○今後のSS課題探究の流れ

■今後の予定（１学年次）

|  |  |
| --- | --- |
| 11月19日（木） | オリエンテーション |
| 12月10日（木） | グループ決め（11/26、12/3は授業なし） |
| 12月17日（木）、24日（木） | 情報の収集、研究テーマ決め |
| 冬休み宿題 | 研究テーマの決定、リサーチクエスチョンの提示 |
| １月７日（木）、14日（木）、21日（木） | リサーチクエスチョンの深化、ポスター作成 |
| １月28日（木） | ポスター提出 |
| ２月４日（木） | ポスターセッション（発表） |

■次回（12/10）のグループ決めに向けて

|  |  |
| --- | --- |
| 日程 | 内容 |
| ～12月６日（日） | 自分が研究したい分野、テーマを決め、Formで回答する。 |
| 12月７日（月） | 全員のテーマ一覧表配布。自分と同じ分野や似たテーマの人を探す。 |
| 12月10日（木） | 体育館に集合し、分野ごとにわかれて研究グループを作る。詳細は後述。 |

＜研究グループ＞

・１グループ２～３人で構成し、２年生の最後まで同じグループで継続して研究に取り組む。

・興味のある研究分野や研究テーマが共通（類似）している者同士でグループを構成する。

＜研究したい分野、テーマについて＞

・研究テーマは自由。SDGsの継続でも、他の身近な社会的課題の研究でも可。ただし、課題研究にふさわしいテーマとすること。

・研究テーマは、現時点での大まかなものでよいが、どういうことを研究したいのかがわかるようになるべく具体的に記載すること。

・研究分野は次の表のうち最も当てはまるものを選ぶこと。（*cf*.メソッドpp.35-39）

|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 内容 |
| Ａ　物理学 | 力学、電磁気学、電気・機械工学、建築学　など |
| Ｂ　化学 | 有機化学、無機化学、薬学　など |
| Ｃ　生物学 | 動物学、植物学、医学、農学、遺伝学　など |
| Ｄ　地学 | 地質学、自然地理学、惑星科学、宇宙科学　など |
| Ｅ　数学 | 代数学、幾何学、統計学、コンピュータ科学　など |
| Ｆ　社会科学 | 政治学、法学、経済学、教育学　など |
| Ｇ　人文学 | 歴史学、文学、語学、心理学、芸術　など |
| ｗ　環境系 | ※現時点でＡ～Ｇのどの分野かわからない場合、ｗ～ｚを選択してもよい。グループで研究の内容が決まり次第、Ａ～Ｇに。（例：ｗ廃プラスチック→Ｂ代替化学製品／Ｃ海洋生物への影響／Ｄ土壌汚染／Ｆ社会制度　など） |
| ｘ　スポーツ・健康系 |
| ｙ　家庭・生活系 |
| ｚ　その他 |

＜Form回答内容＞　※Classroom「SS課題探究Ⅰ」にアップされています

・クラス、出席番号、氏名　　・研究したい分野　　・研究テーマ（現時点でのおおまかなもの）

・研究テーマを選んだ理由（100字程度）

■夢ナビライブ（大学教授による講義動画サービス）

高校生向けの大学教授による30分の講義動画を何度でもスマートフォンやパソコンで視聴することができるサービスで、2,600以上の講義が配信されている。

別冊「講義動画一覧」では、配信されている講義のタイトルや、担当教授の在籍大学等が示されている。研究したい分野やテーマに対する知識を深めたい人も、そもそも分野やテーマが見つからない人も、社会的な課題に触れる機会であるため、活用してほしい。